

2024年10月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+3.8	大 宮 店	△8.6
堺 店	△3.1	柏 店	※2 △2.6
京 都 店	※1 +6.7	E C 店	+5.9
泉 北 店	△4.3	(株)高島屋各店計	+3.0
日 本 橋 店	+5.7	岡 山 高 島 屋	△7.9
横 浜 店	+2.4	高 崎 高 島 屋	+0.0
新 宿 店	+7.3	国 内 百 貨 店 計	+0.6
玉 川 店	△10.1	国 内 百 貨 店 既 存 店 計	※3 +2.7

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

※3 2024年7月に営業を終了した岐阜高島屋の前年実績を控除しています。

■ 概況

○前年比(※既存店対比)におきまして、店頭売上高は+0.6%(※+2.7%)と上回りました。

免税売上高は「国慶節」期間中の客数増加もあり、+35.1%(9月度+20.4%)で推移しました。

一方、免税を除いた店頭売上高は△3.5%(※△1.3%)と気温が高かったこともあり、婦人服、紳士服などの動きが弱く、前年実績を下回りました。

○店舗別売上高は、大阪店、京都店、日本橋店、横浜店、新宿店、EC店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類)は、婦人雑貨、特選衣料雑貨、食堂、サービスが前年実績を上回りました。